



申4号 「変革2027」の実現に向けた組織の再編に関する申し入れ
 団体交渉開催！（その2）

2. ライン管理をすることでのメリットとデメリットを明らかにすること。また、取扱いや教育に対する判断機関と権限を明らかにすること。

回答：ライン管理を行うことで、支社間の調整・重複業務を減らした体制を構築していく考えである。

【組合】

- ライン管理とは？
- ライン管理する業務は？
- ライン管理の主体はどこなのか？
- ライン管理は運輸のみなのか？
- 常磐線で先行実施する理由は？

【会社】

- 線区単位で管理すること。常磐線で先行実施して実施し、結果を見定めながら今後について判断する。八王子支社でライン管理を実施するかは未定。
- 輸送計画や乗務員指導担当業務、区所ごとの取扱いの統一等。確認
- 首都圏本部の各支社の業務に精通した社員が主体となり行う。確認
- 当面、運輸のみであるが、今後は未定。
- E電とM電、直流と交流、東京支社と水戸支社等の様々な条件がある。

3. 現業機関へ移管する企画業務の内容と移管するスケジュールを具体的に示すこと。また、現業機関の業務量が増加する中でこれまで以上に安全・サービスレベルを維持・向上できる根拠を示すこと。（その3へ続く）

回答：業務の移管に向けて必要な準備を進めていく。また、「お客さまに最も近い」という現場の発想力を最大限生かして、これまでの組織の垣根を越えた業務を現場で担うことにより、今まで以上に安全やサービスレベルの向上、収益力の強化等につながる施策を自律的に実現していく。

【組合】（その3へ続く）

- 必要な準備とは？
- 企画業務を支社ではなく現場で行うことのメリットは？
- いつまでに移管するのか？
- 移管した業務を担うのは誰か？
- 業務を移管する箇所の選定理由は？

【会社】（その3へ続く）

- 移管業務のフローを作成し、関係ユニットのリーダー・サブリーダーに説明すること等。
- 鉄道オペレーションに従事し、お客さまと接することで感じたこと等を反映することができる。確認
- 2023年6月まで(日にちは未定)。確認
- 移管先の社員、またはユニットのリーダー・サブリーダー等が担うことになる。確認
- 業務を進めやすさや全体のバランスを見て箇所を選定した。